

省エネマンションをめざすには?

快適な温熱環境にする窓・玄関ドア改修

『国の補助金制度の背景』と『窓改修補助事業の制度概要の説明』資料



2024年11月



窓から環境を考える(地球温暖化から沸騰化の時代到来?)

2023年 国連事務総長は『地球沸騰化の時代』と警告

0テレ NEWS 2023年7月27日 日テレ NEWSより 国連事務総長「地球沸騰の時代」 今月の世界平均気温 観測史上最高に

米・ニューヨーク 27日

国連 国連事務総長

地球温暖化の時代は終わり 地球沸騰の時代が到来した

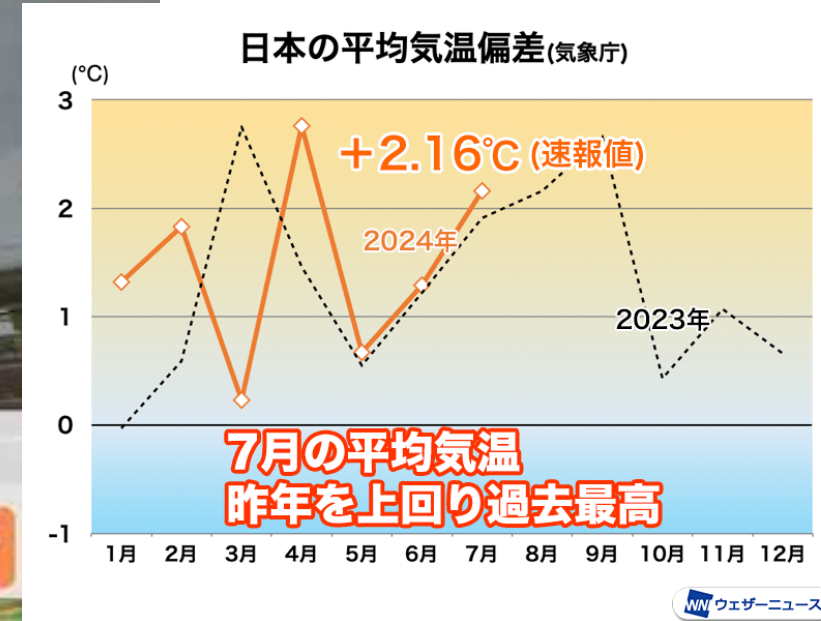
今年の各地の最高気温
2019年7月8日 環境省ホームページ『2100年 未来の天気予報』より

地域	最高気温 (°C)
札幌	40.5
秋田	42.5
新潟	43.8
仙台	41.1
松江	42.1
金沢	42.4
福岡	41.9
広島	42.3
大阪	42.7
東京	43.3
高知	42.0
名古屋	44.1
鹿児島	41.0

(2100年8月21日 現在)

国連本部での世界気象機関（WMO）の最新の報告書の発表（7月27日）に際し、アントニオ・グテーレス国連事務総長は、「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来した。」と記者団に語り、劇的かつ早急な気候アクションの必要性を訴えました。

2024年 国内の平均気温、2年連続で記録更新！！



先月の平均気温が統計史上最も暑かった去年を上回り、記録の残る126年間で「最も暑い7月」だったことが分かりました。気象庁によりますと、先月の日本の平均気温は平年と比較して+2.16℃で、1898年に統計を取り始めてから過去最高を更新しました。これまでで最も高かったのは去年の+1.91℃で、2年連続で過去最高を更新するのは初めてです。

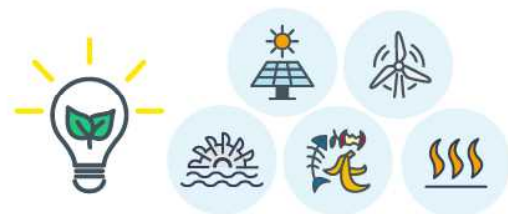
『地球沸騰化』の防止対策に効果的な窓の高断熱化改修工事

地球沸騰化とは

地球沸騰化とは、地球温暖化の進行による影響が危機的な状況であることを表現している言葉

地球沸騰化を防止する対策

再生可能エネルギーの主力電源化



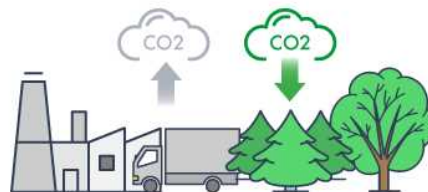
建物の高断熱化を含めた省エネ



自動車のゼロエミッション化



CO2 排出削減策の強化



大量消費社会から循環型社会への転換



地球沸騰化が続いた場合、自然災害が多発するなどの悪影響がさらに深刻化する恐れがある

2020年

2050年カーボンニュートラル宣言



グリーン社会の実現

【関連ページ: 6, 7ページ参照】

**積極的な温暖化対策は
産業や経済社会の変革をもたらし
大きな成長につながるという
発想の転換が必要**

2023年

GX推進法案 衆院委員会で可決



GX(グリーントランスフォーメーション)

【関連ページ: 8, 9ページ参照】

**官民連携のもと
脱炭素の課題をGXを実行し
我が国の成長エンジンへと転換し
持続可能な経済を作っていく**

窓から環境を考える(気候変動に関する世界的潮流)

■ 気候変動問題への対応は、科学的知見に基づく人類共通の課題。

※【IPCC（気候変動に関する政府間パネル）報告書】

- 現時点ですでに約1度温暖化。1.5度を大きく超えないためには、2050年前後のCO2排出量が正味ゼロとなる必要がある。（2018年10月特別報告書）
- 人間の影響が大气・海洋・陸域を温暖化させてきたことは、**疑う余地がない。**（2021年8月AR WG1）

■ 2015年のパリ協定を基に、世界共通の長期気温目標の達成に向けて取り組みを加速。

温暖化に伴う極端現象の変化 (AR6 WG1より作成)

極端現象の種類※1、2	現在 (+1℃)	+1.5℃	+2.0℃	+4.0℃
 極端な高温 (10年に1回の現象)	2.8倍	4.1倍	5.6倍	9.4倍
 極端な高温 (50年に1回の現象)	4.8倍	8.6倍	13.9倍	39.2倍
 大雨 (10年に1回の現象)	1.3倍	1.5倍	1.7倍	2.7倍
 干ばつ※3 (10年に1回の現象)	1.7倍	2.0倍	2.4倍	4.1倍

IPCC 第6次評価報告書 第1作業部会報告書を元に作成（1850～1900年における頻度を基準とした増加を評価）

※1：温暖化の進行に伴う極端現象の頻度と強度の増加についての可能性又は確信度：極端な高温は「可能性が非常に高い（90-100%）」大雨、干ばつは5段階中2番目に高い「確信度が高い」

※2：極端現象の分析対象の地域：極端な高温と大雨は「世界全体の陸域」を対象とし、干ばつは「乾燥地域のみ」を対象としている。

※3：ここでは農業と生態系に悪影響を及ぼす干ばつを指す。

2015年12月 パリ協定採択（COP21）

- **すべての国が参加**する公平な合意
- 世界の平均気温の上昇を、産業革命以前に比べ2℃より十分低く保ちつつ（2℃目標）、**1.5℃に抑える努力を追求（1.5℃努力目標）**

2021年11月 COP26

- パリ協定のルールが完成 → **「実施の時代へ」**
- **1.5度目標の再確認**

2022年11月 COP27

- 世界全体での気候変動対策の実施強化

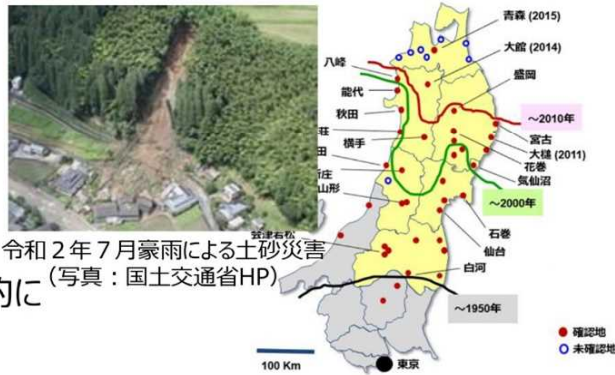
窓から環境を考える(日本における気候変動の状況と対策の方向性)

- 気候変動による影響は我が国においても、自然災害をはじめ、様々な分野に影響。
- 我が国は1.5℃の気温上昇抑制と整合する「2050年カーボンニュートラル」と「2030年度46%減、さらに50%の高みに向けて挑戦」という新たな目標を宣言。
2020.10.26 菅 前総理の国会での所信表明演説
 2021.04.22 同上 気候変動サミットで目標を国際協約
 ⇒「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」、「地球温暖化対策計画」等を閣議決定。

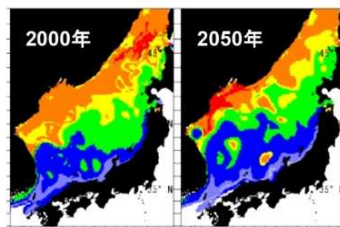
分野ごとの主な影響の例 (気候変動影響評価報告書 (2020年12月環境省))

【水環境・水資源、自然災害・沿岸域】

- ・大雨の発生頻度の上昇、広域化により、土砂災害の発生頻度増加。



デング熱等を媒介するヒトスジシマ蚊の生息域北限の推移



日本海におけるスルメイカの分布予測 (7月)

【自然生態系】

- ・夏期の高水温による珊瑚の大規模な白化

【健康】

- ・熱中症による搬送者数、死亡者数が全国的に増加 (2018年に1500名死亡)
- ・ヒトスジシマカ (デング熱を媒介) 等の感染症媒介生物の生息域が拡大。

【農林水産業】

- ・コメの収量・品質低下 (一等米比率の低下等)
- ・回遊性魚類の分布域が変化 (スルメイカ、サンマの漁場縮小等)

【産業・経済活動、国民生活・都市生活】

- ・災害保険金の支払増加による保険会社の経営への影響、農作物の品質悪化等による食料品製造業への悪影響、スキー場での積雪不足等によるレジャー産業への悪影響
- ・気候変動による紛争リスク等、安全保障への影響

地球温暖化対策計画

- 新たな2030年度削減目標の裏付けとなる対策・施策を記載。
- 家庭部門は、**2013年比66%削減**という高い目標を設定。

温室効果ガス排出量・吸収量 (単位: 億t-CO ₂)	2013排出実績	2030排出量	削減率	従来目標	
エネルギー起源CO ₂	14.08	7.60	▲46%	▲26%	
部門別	産業	4.63	2.89	▲38%	▲7%
	業務その他	2.38	1.16	▲51%	▲40%
	家庭	2.08	0.70	▲66%	▲39%
	運輸	2.24	1.46	▲35%	▲27%
	エネルギー転換	1.06	0.56	▲47%	▲27%
非エネルギー起源CO ₂ 、メタン、N ₂ O	1.34	1.15	▲14%	▲8%	
HFC等4ガス (フロン類)	0.39	0.22	▲44%	▲25%	
吸収源	-	▲0.48	-	(▲0.37億t-CO ₂)	
二国間クレジット制度 (JCM)	-	-	-	-	

官民連携で2030年度までの累積で1億t-CO₂程度の国際的な排出削減・吸収量を目指す。我が国として獲得したクレジットを我が国のNDC達成のために適切にカウントする。

大型台風の発生
ゲリラ豪雨発生
激甚災害が多発

海水面上昇
山火事の発生
大規模干ばつ多発

北極圏の永久凍土の融解
未知のウイルス発生
伝染病・感染症多発

高温による農作物被害
高温による生産域北上
高海水による漁獲量減

屋内外での熱中症リスク
パウダースノー消滅危機
夏場の電力不足?

窓から環境を考える(くらしGXの加速化)

①「くらしGX」の加速化 【関連ページ：5ページ右参照】

- エネルギー価格高騰の中、電気・ガス等の価格に対する激変緩和措置に万全を期すとともに、くらし関連分野のGXを進め、その果実を国民が実感でき、くらしの質が向上するよう、各家庭の光熱費低減や、快適性向上につなげる。GX推進による果実を国民が実感できるよう、必要な投資促進策を講じていく。
- 具体的には、断熱性能に優れた窓改修、高効率給湯器（ヒートポンプ等）、次世代自動車等の導入支援など、強力なGX投資促進策を講じる。

【具体的な投資促進策のイメージ】

・住宅の熱の出入りの7割は窓。断熱窓導入は光熱費低減の鍵であり、引き続き断熱投資を支援。

・公営住宅等の賃貸集合住宅向けは、自治体と協力して重点支援



・既築住宅における高効率給湯器等の導入を支援。



・次世代乗用車に対して最大85万円の補助。

・バス等の電動化について従来車との差額の2/3等を支援。



・教育施設、病院、商業施設などの建築物のゼロエミッション化等を支援し、暮らしの質を向上。

・子育て世帯・若者夫婦世帯に対し、ZEH住宅の購入を支援。

・また、壁・床の断熱改修等のリフォームに対し、工事内容に応じて一定額を支援。



・家庭用太陽光発電、蓄電池等の導入に対して1/3の補助率で支援。

・家庭におけるV2Hの普及をはじめ、充電インフラの整備を支援。



・臨時交付金を積み増し、自治体による冷蔵庫等の省エネ家電買い替え支援策の活用を促進。

出所：住宅メーカー等各社公表資料を基に作成

住宅省エネ 2024キャンペーン

子育てエコホーム支援事業

先進的窓リノベ2024事業

給湯省エネ2024事業

賃貸集合給湯省エネ2024事業

断熱窓

✓ 断熱性能に優れた窓改修支援

給湯

✓ 高効率給湯器（ヒートポンプ等）の購入支援

自動車

✓ クリーンエネルギー自動車購入支援

建築物のゼロエミッション化等

ZEH

✓ ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）の購入・リフォーム支援

太陽光・蓄電池

✓ 家庭用蓄電池やV2H等の導入

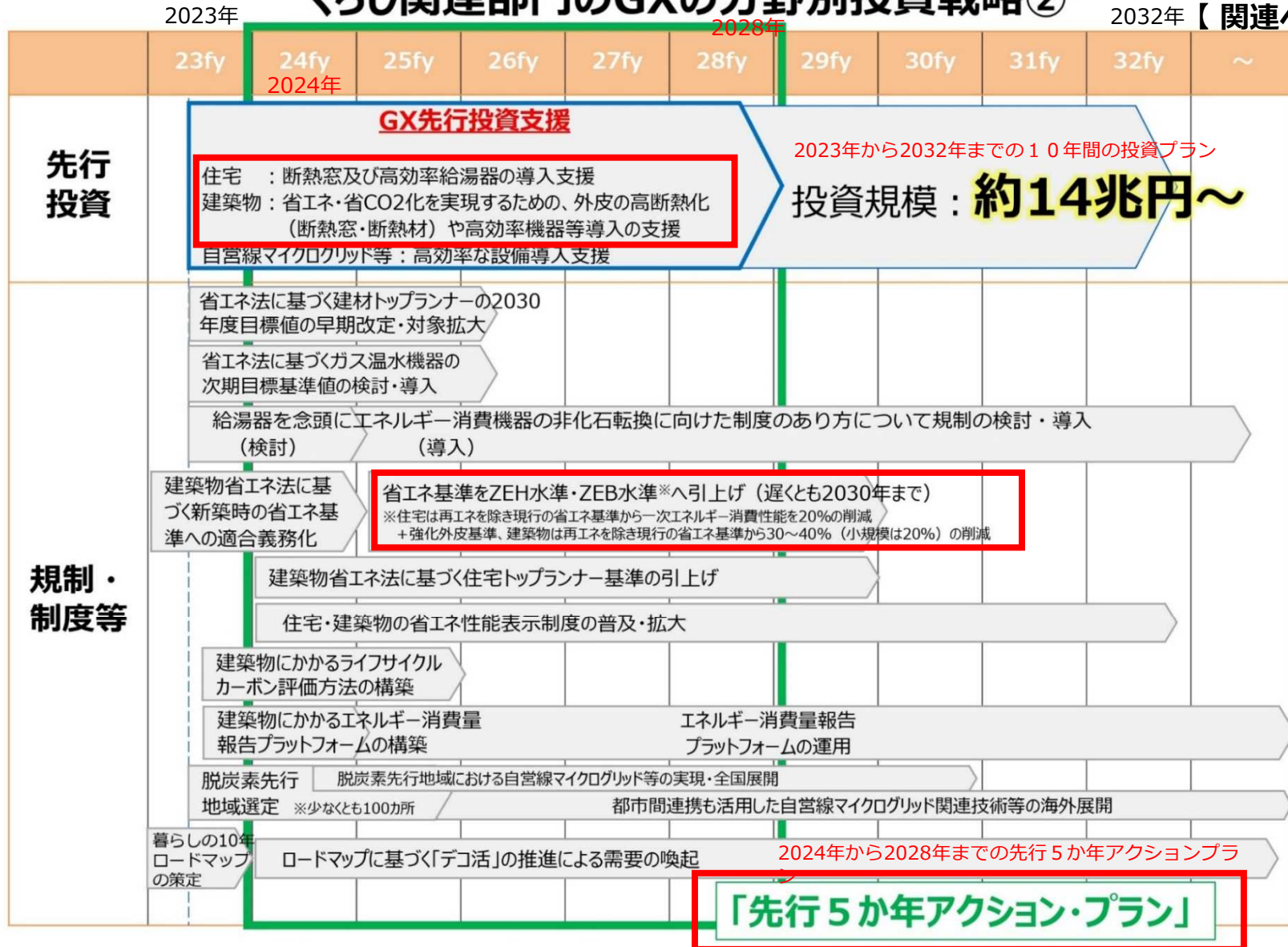
省エネ家電

窓から環境を考える(くらしGXの加速化)

くらし関連部門のGXの分野別投資戦略②

2032年【関連ページ：5ページ右参照】

- '24 住宅省エネ 2024キャンペーン**
- 子育てエコホーム支援事業
 - 先進的窓リノベ2024事業
 - 給湯省エネ2024事業
 - 賃貸集合給湯省エネ2024事業





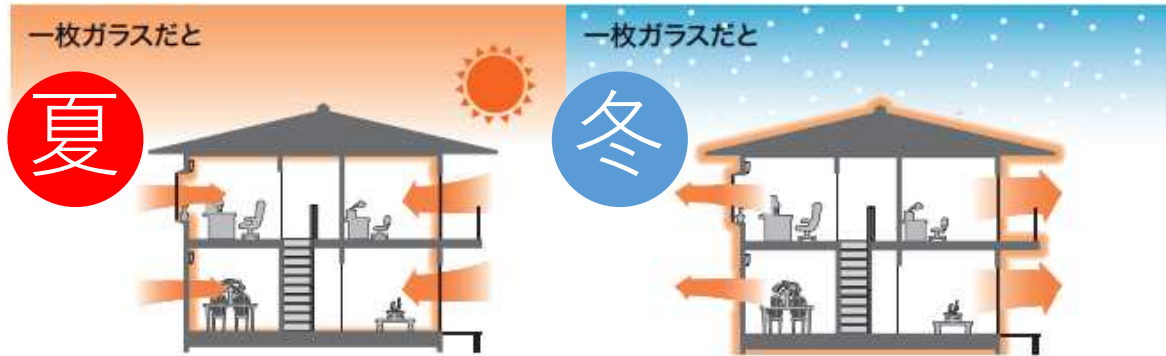
窓に活用できる補助事業制度の説明

- ①.先進的窓リノベ2024事業
- ②.子育てエコホーム支援事業
- ③.既存住宅における断熱リフォーム
- ④.既存住宅における省エネ改修促進事業

断熱性能と熱貫流率

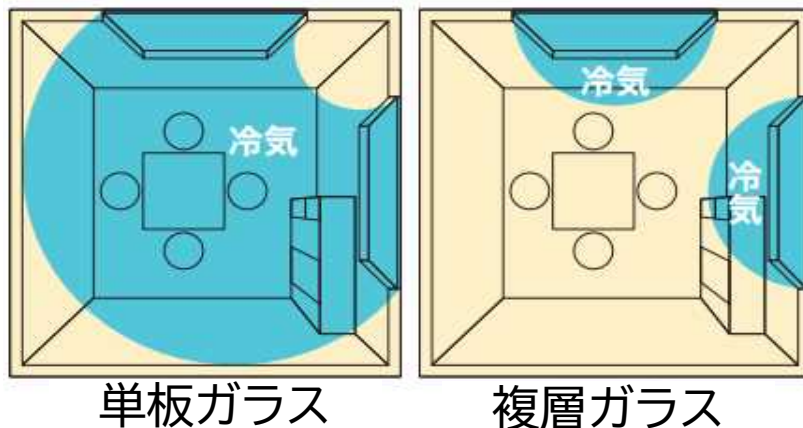
断熱性能

- ・住宅における熱損失の多くは開口部で起きている
- ・マンションストックのうち多くは単板ガラスの窓



夏は**71%**熱が流入

冬は**48%**熱が流出



単板ガラス

複層ガラス

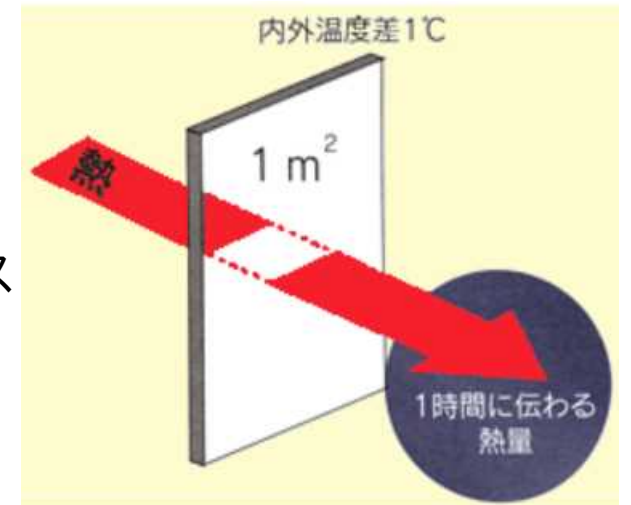
熱貫流率

- ・熱貫流率とは、熱の通りやすさを示す指数
- ・室内外の温度差が 1°C のとき・ 1m^2 あたり通過した熱量

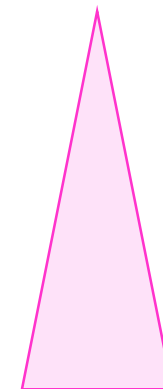
熱貫流率(U値) : $\text{W}/\text{m}^2\cdot\text{K}$

Uw値 : 窓フレームとガラス
合わせた熱貫流率

Ug値 : ガラスの熱貫流率



窓工房よりHP「熱貫流率を小学生でも分かる解説」より抜粋



熱貫流率は小さい
ほど断熱性能は高い

等級	熱貫流率 $[\text{W}/(\text{m}^2\cdot\text{K})]$
H-8	1.1
H-7	1.5
H-6	1.9
H-5	2.3
H-4	2.9
H-3	3.5
H-2	4.1
H-1	4.7

令和6年度 窓の省エネ改修を対象とする国の主な支援事業

三省連携補助事業

2024キャンペーン

住宅省エネ



住宅省エネ2024キャンペーンについて →

②



子育てエコホーム
支援事業

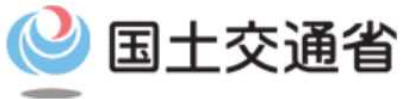
①



先進的窓リノベ2024事業

給湯省エネ2024事業

賃貸集合給湯省エネ
2024事業



居間の窓だけでも対象!

既存住宅の断熱リフォーム 支援補助金について



③



①.先進的窓リノベ2024事業（住宅省エネ2024キャンペーン）

ドア交換の要求値はUw値に準拠

住宅の種別	ガラス交換	内窓設置	外窓・ドア交換 (カバー工法)	外窓・ドア交換 (はつり工法)
戸建住宅および 低層集合住宅 (3階建以下)	Uw1.9以下	Uw1.9以下	Uw1.9以下	Uw1.9以下
中高層集合住宅 (4階建以上)	Uw1.9以下	Uw1.9以下	Uw2.3以下	Uw1.9以下

下表は中高層集合住宅のカバー改修の補助額 ※.住戸あたりの補助上限額200万円/戸

サイズ(性能区分B)	大 (2.8㎡以上)	中 (2.8㎡未満1.6㎡以上)	小 (1.6㎡未満)
1箇所あたりの補助額	102,000円/箇所	70,000円/箇所	43,000円/箇所

- リフォーム工事のみ補助対象
- 事業者登録を行った事業者が申請し、補助額は事業者に交付後、全額を工事発注者に還元する
- 最低申請額条件(5万円以上)
- 2023年11月2日以降に対象工事に着手した物件（工事契約時期は問わない）
- 工事完了後に申請（工事着工後に予約申請可、有効期間は申請後9か月間、交付期限内）
- 2024年12月31日 交付申請期限（予算額に達したら早期終了）
- ドア単独では対象とならない（窓改修と同時に行い事が要件）

②.子育てエコホーム支援事業(住宅省エネ2024キャンペーン)

ドア交換の要求値はUw値に準拠

	断熱区分	1.2地域	3地域	4地域	5~7地域	8地域
集合住宅の要求 断熱性能(W/m ² ・K)	ZEH基準	Uw1.9以下	Uw2.3以下	Uw2.9以下	Uw2.9以下	8地域は熱遮蔽 の条件設定
	省エネ基準	Uw2.3以下	Uw2.3以下	Uw3.5以下	Uw4.7以下	

※.住戸あたりの補助上限額20万円/戸

外窓交換の補助額	大(2.8㎡以上)	中(2.8㎡未満1.6㎡以上)	小(1.6㎡未満0.2㎡以上)
ZEH基準	34,000円/箇所	27,000円/箇所	22,000円/箇所
省エネ基準	25,000円/箇所	20,000円/箇所	17,000円/箇所
玄関ドア改修の補助額	大(1.8㎡以上)	小(1.8㎡未満1.0㎡以上)	
ZEH基準	49,000円/箇所	37,000円/箇所	
省エネ基準	43,000円/箇所	32,000円/箇所	

- 新築工事・リフォーム工事のみ補助対象
- 事業者登録を行った事業者が申請し、補助額は事業者に交付後、全額を工事発注者に還元する
- 地区区分でそれぞれ要求断熱性能が異なる
- 最低申請額条件(5万円以上)(先進的窓リノベ事業併用の場合は2万円以上)
- 2023年11月2日以降に対象工事に着手した物件(工事契約時期は問わない)
- 工事完了後に申請(工事着工後に予約申請可、有効期間は申請後9か月間、交付期限内)
- 2024年12月31日 交付申請期限(予算額に達したら早期終了)
- ~~ドア単独では対象とならない(窓改修と同時に行う事が要件)~~ ドア単独で対象となる

③.既存住宅における断熱リフォーム支援事業(断熱リノベ)

工事区分	改修工事	断熱グレード	基準単価(円/m ²)
窓改修	カバー工法	W6 (Uw値2.3)	50,000円/m ²
ガラス交換	カバー工法 ・ ガラス交換	G0 (Ug値1.1)	50,000円/m ²
		G1 (Ug値1.2~1.5)	40,000円/m ²
		G2 (Ug値1.6~2.3)	30,000円/m ²
玄関ドア改修			見積書の金額と15万円のいずれか低い額の1/3

・補助金の上限額：集合住宅15万円/戸(玄関ドアも改修する場合は上限20万円/戸)

・交付申請して、採択後に工事契約すること(交付決定前に工事契約を行うと補助対象外)

集合全体(分譲)

- 原則、当該集合住宅の全ての対象住戸を改修すること(ただし、管理組合総会等の決議がある場合変更可)
- 対象となる改修について、当該集合住宅の管理組合総会等で承認決議を得ること
- 区分所有法で共用部とみなされている窓等を改修する場合は、管理規約等で共用部であることが確認できること
- 補助制度の活用を前提とする改修の意思決定が議事録等で確認出来ること

集合全体(賃貸)

- 申請者が当該住居を所有していること
- 集合住宅(全体)の場合、1棟すべてを所有していること
- 集合住宅(全体)の場合、原則、当該集合住宅の全ての対象住戸を改修すること

※.事業完了後2年間のエネルギー使用状況報告が義務付けられている

④.既存住宅における省エネ改修促進事業(公益財団法人東京都環境公社)

事業の目的

都内にある既存住宅に設置されている窓・ドアを高性能窓・ドアに改修・断熱材及び高断熱浴槽を設置する方に対して、その経費の一部を助成することにより、既存住宅の断熱性能向上を推進すること

2024.6.13

令和6年度

既存住宅における省エネ改修促進事業
(高断熱窓・ドア・断熱材・高断熱浴槽
リフォーム瑕疵保険)

事業説明会

公益財団法人東京都環境公社
東京都地球温暖化防止活動推進センター
(愛称:クール・ネット東京)

④

事業スキーム



事業概要

- ・都内にある既存住宅に設置されているものが、助成対象となります。
 - 助成対象者の生活の拠点は東京都以外でも構いません。
 - 申請者は対象住宅の登記簿上の所有者としてください。
- ・専用住宅が対象です。
 - 店舗や事務所等と居住部分が同一の住宅の場合、電気・ガス等のエネルギーを分けて管理されており、かつ、高断熱窓、ドア、断熱材、高断熱浴槽の改修工事においても明確に切り分けしていれば、居住部分のみを申請することは可能です。

④.既存住宅における省エネ改修促進事業(公益財団法人東京都環境公社)

対象	助成率	上限額	要件
高断熱窓	材料費・工事費の1/3	100万円/戸	既存住宅における1つ以上の居室において、すべての窓について高断熱窓に設置すること等
高断熱ドア	材料費・工事費の1/3	16万円/戸	3.5W(m ² ・K)以下のドアを設置すること

対象	要件
高断熱窓	<ul style="list-style-type: none"> ① 未使用品であること ② 断熱リフォームに係る支援事業、先進的窓リノベ事業において、補助事業となる製品として登録されている窓及びガラスであること
高断熱ドア	<ul style="list-style-type: none"> ① 未使用品であること ② 熱貫流率が3.5W/(m²・K)以下のドアであること ③ 先進的窓リノベ事業において、補助対象となる商品として登録されているか、子育てエコホーム支援事業において、補助対象となる製品で熱貫流率3.5W(m²・K)以下のドアも対象

事業概要

- 事前申込 令和6年5月31日(金)から
- 交付申請兼実績報告 令和6年6月28日(金)から令和11年3月30日(金)まで
- 都内にある既存住宅に設置されたものが、助成対象となります
- 専用住宅が対象です。
- **本事業は事前申請が必要です**(事前申請を受付けた日より前に契約締結(当初契約)工事した案件は助成対象外)

④.既存住宅における省エネ改修促進事業(公益財団法人東京都環境公社)

助成申請額

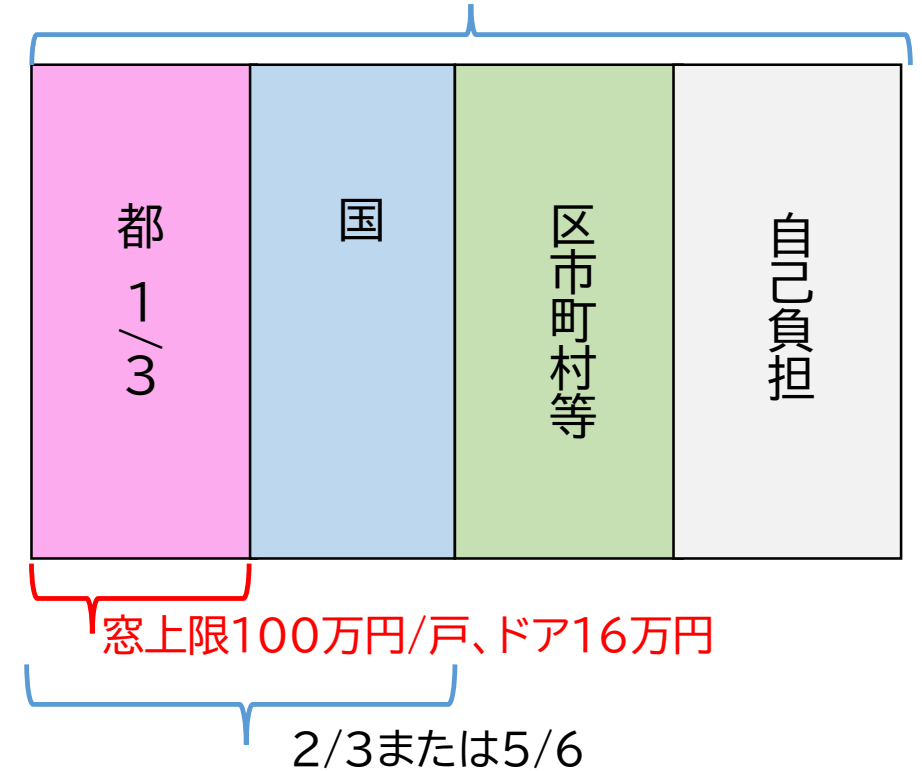
高断熱窓

- ① 戸建住宅 : 1住戸当たり 100万円
集合住宅 : 1住戸ごとに 100万円
- ②・先進的窓リノベ事業以外の国からの補助金と併給する場合
(助成対象経費×2/3) - (本事業と重複する国補助金の額)
- ・先進的窓リノベ事業と国からの補助金と併給する場合
(助成対象経費×5/6) - (本事業と重複する国補助金の額)

高断熱ドア

- ① 戸建住宅 : 1住戸当たり 16万円
集合住宅 : 1住戸ごとに 16万円
- ②国からの補助金と併給する場合
(助成対象経費×5/6) - (本事業と重複する国補助金の額)

本事業の助成対象経費



説明の内容について

1. 窓に活用できる補助事業の系譜
2. 補助事業の特徴について
3. 窓に活用できる補助事業(メリット・デメリットについて)
4. 各種補助事業の補助金額シミュレーション
5. 補助事業の公募期間比較
6. 玄関ドアの補助事業について
7. 改修事例紹介
8. 建築物省エネ法に基づく省エネ性能表示制度
9. 各法人他 ホームページのご紹介
10. 参考:内窓について
11. 最後に

1.窓に活用できる国の補助事業の系譜

2013

2017

2018

2019

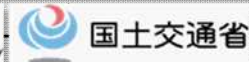
2023

2024

2025

2030

主管官庁



補助事業名

既築住宅における
高性能建材導入促
進事業

既存住宅における断熱リフォーム支援事業
(略称:断熱リノベ)

継続?

住宅省エネキャンペーン2023
先進的窓リノベ
2022年11月～

住宅省エネキャンペーン2024
先進的窓リノベ2024事業
子育てエコホーム支援事業

継続?

住宅エコリフォーム
2017年2月

次世代住宅ポイント
2019年4月

グリーン住宅ポイント
2020年12月～

こどもみらい
2021年11月～

こどもエコすまい
2022年11月～

継続?

性能グレード	要求性能	仕様(代表例)							
カバー工法 G2グレード	ガラス性能値 Ug1.6~2.3	アルミサッシ Low-E複層ガラス (中空層:乾燥空気)	G2グレード	G2グレード					
カバー工法 G1グレード	ガラス性能値 Ug1.2~1.5	アルミサッシ Low-E複層ガラス (中空層:アルゴンガス)		G1グレード					
カバー工法 W6グレード	窓の熱還流率 Uw2.3以下 (防火仕様は2.9以下)	アルミ樹脂 複合サッシ Low-E複層ガラス (中空層:アルゴンガス)		W6グレード					
外窓交換 Bグレード	窓の熱還流率 Uw2.3以下	アルミ樹脂 複合サッシ Low-E複層ガラス (中空層:アルゴンガス)		Bグレード		Aグレード			
外窓交換 ZEHLレベル	2.9(W/m ² ·K)以下	アルミ樹脂 複合サッシ Low-E複層ガラス (中空層:アルゴンガス)		ZEHLレベル					ZEHLレベル
外窓交換 省エネ基準 レベル	4.7(W/m ² ·K)以下	アルミサッシ 複層ガラス (中空層:乾燥空気)		省エネ基準レベル					省エネ 基準レベル

2.補助事業の特徴について

I : 補助金の支給額



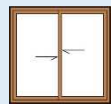
窓の断熱性：**高**



補助金支給額：**多**



アルミ
サッシ



アルミ樹脂
複合サッシ

II : 補助金のリスク



工事着手**前**申請

工事完了**後**申請



予算消化心配：**少**

予算消化心配：**多**



リスク：**低**









リスク：**高**



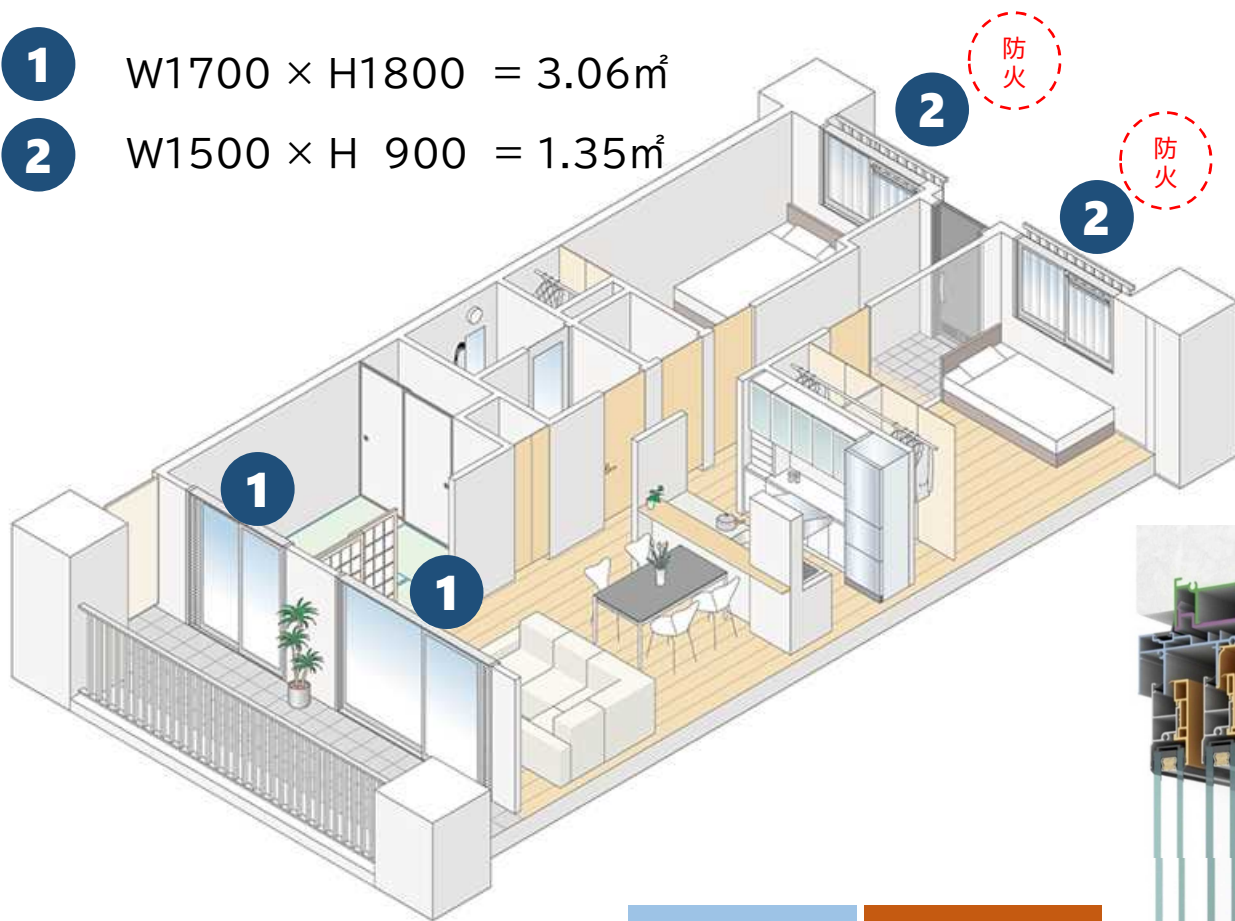
補助金の金額とリスクを考えると、アルミ樹脂複合サッシ+工程を事前にしっかり検討することが重要

3.窓に活用できる国の補助事業 (メリット・デメリットについて)

補助金	メリット	デメリット
<p> 環境省</p> <p> 先進的窓リノベ2024事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 補助金の受給額が多い ➤ 実質負担が少なく断熱性の高い窓に交換可能 ➤ 部分改修が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 工事完了後の申請のため、予算の消化次第で終了する心配がある ➤ 玄関ドア単独での申請は不可『窓の改修と同一契約内での改修する場合に限る)』
<p> 国土交通省</p> <p> 子育てエコホーム支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ワンストップ申請で先進的窓リノベと併用可能 ➤ 玄関ドア単独の工事にも活用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 工事完了後の申請のため、予算の消化次第で終了する心配がある ➤ 補助金額が『断熱リノベ』より少ない
<p> 環境省</p> <p> 既存住宅における断熱リフォーム支援事業 (略称:断熱リノベ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ アルミサッシで改修の場合、『子育てエコホーム支援事業』より補助金額が多い ➤ 工事着手前の申請のため、予算の消化の心配が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 全戸全窓の改修が必要 ➤ 補助金交付決定通知後の契約・工事着手のため、工事時期が秋口に集中 ➤ 秋口着工は、大型マンションの工期厳しい

4.補助金額のシミュレーション

- ① W1700 × H1800 = 3.06㎡
- ② W1500 × H 900 = 1.35㎡



アルミ樹脂
複合サッシ
Low-E複層ガラス
(中空層:アルゴンガス)



先進的窓リノベ事業

1住戸の補助額

①	大	2.8㎡以上	102,000円×2箇所
②	小	0.2㎡以上1.6㎡未満	43,000円×2箇所
4箇所 合計			290,000円 ... (A)

+

既存住宅における省エネ改修促進事業(東京都)



①助成対象経費	: 960,000円(仮想定)
②国の補助金	: 290,000円
③市の補助金	: 50,000円(要相談)※ ... (B)
I) ①×1/3(上限額)	320,000円 (C)
II) ①×5/6-②	= 510,000円
III) ①-②-③	= 620,000円

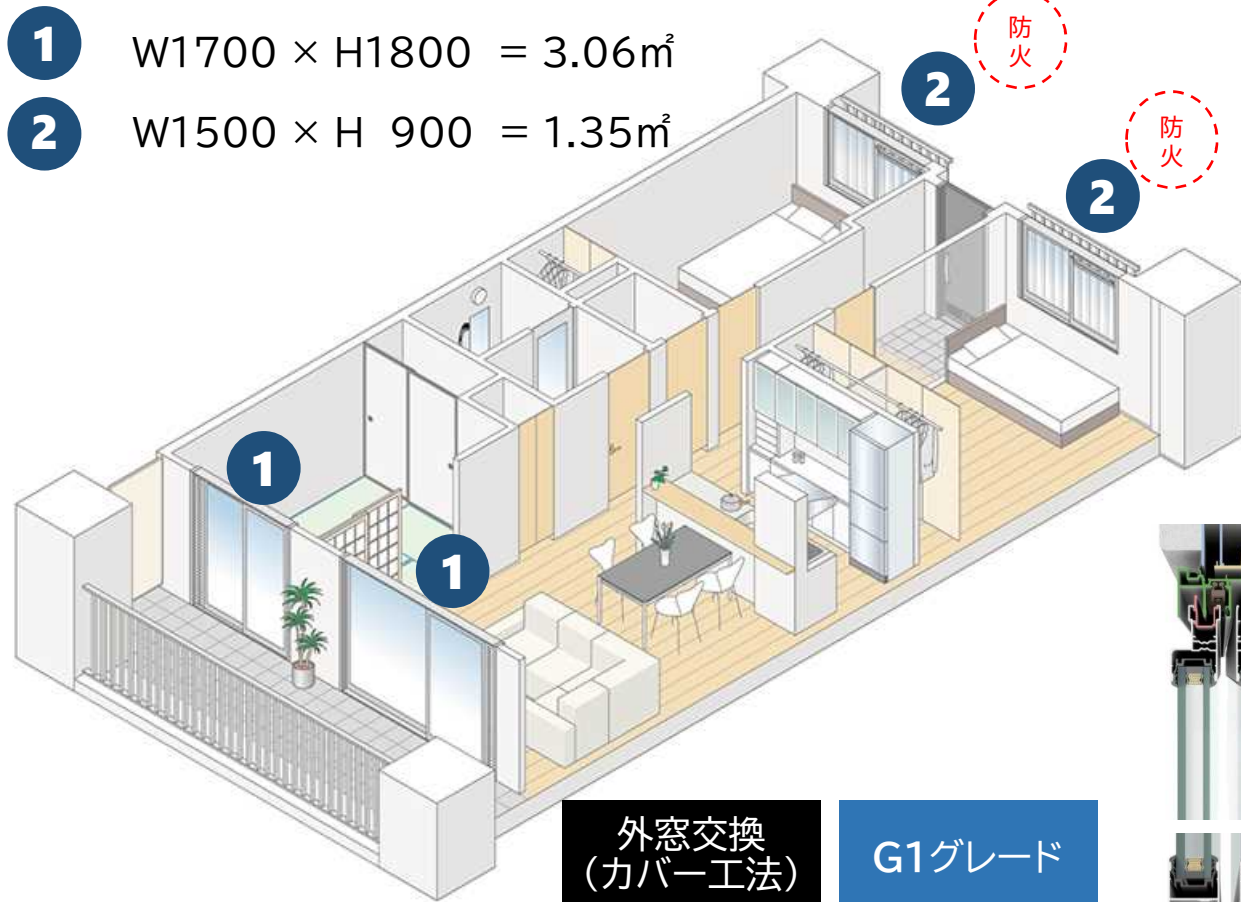
I、II、IIIのうち小さい額
かつ助成対象額1/3又は100万円以内

補助額 合計660,000円(A+B+C) 23

※狛江市補助事業について
令和6年度の市の補助金は受付終了。
令和7年度の実施については予算が決定次第ホームページに掲載

4.補助金額のシミュレーション

既存住宅における断熱リフォーム支援事業(略称:断熱リノベ)



- ① W1700 × H1800 = 3.06㎡
- ② W1500 × H 900 = 1.35㎡

外窓交換 (カバー工法) G1グレード
アルミサッシ Low-E複層ガラス (中空層:アルゴンガス)



既存住宅における断熱リフォーム支援事業

1住戸の補助額

①	基準価格 40,000円×3.06㎡×2箇所 = 244,800円
②	基準価格 40,000円×1.35㎡×2箇所 = 108,000円
補助対象経費合計 352,800円	
補助額:補助対象経費× 1/3= 117,600円	
4箇所 合計	117,600円 ...①

+

既存住宅における省エネ改修促進事業(東京都)



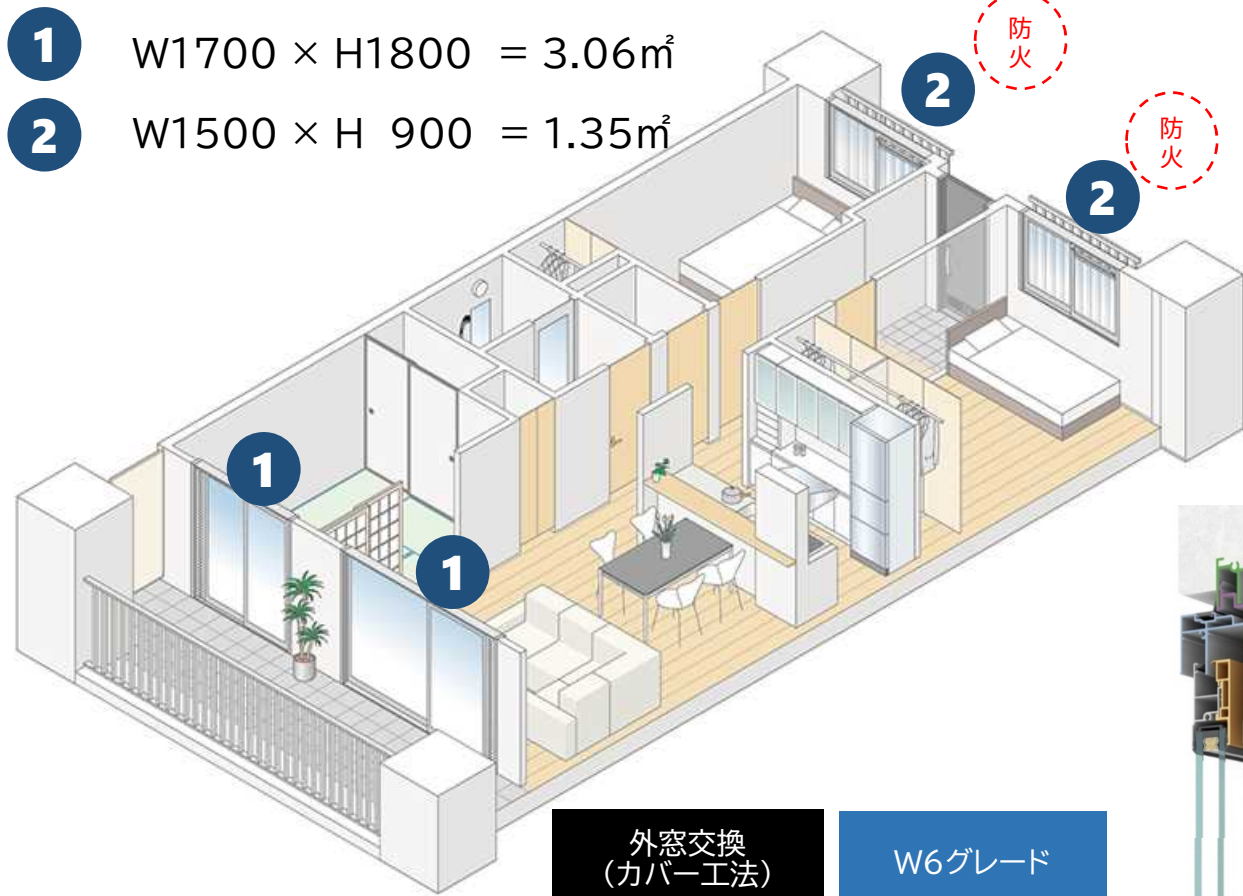
①助成対象経費	:780,000円(仮想定)
②国の補助金	: 117,600円
③市の補助金	: 50,000円(要相談)※ ...②
I) ①×1/3(上限額)	= 260,000円③
II) ①×2/3-②	=401,400円
III) ①-②-③	=612,400円
I、II、IIIのうち小さい額	
かつ助成対象額1/3又は100万円以内	

※狛江市補助事業について
令和6年度の市の補助金は受付終了。
令和7年度の実施については予算が決定次第ホームページに掲載

補助額 合計427,600円(①+②+③)

4.補助金額のシミュレーション

既存住宅における断熱リフォーム支援事業(略称:断熱リノベ)



- ① W1700 × H1800 = 3.06㎡
- ② W1500 × H 900 = 1.35㎡

外窓交換 (カバー工法)	W6グレード
アルミ樹脂 複合サッシ	Low-E複層ガラス (中空層:アルゴンガス)

既存住宅における断熱リフォーム支援事業

1住戸の補助額	
①	基準価格 50,000円×3.06㎡×2箇所 = 306,000円
②	基準価格 50,000円×1.35㎡×2箇所 = 135,000円

	補助対象経費合計 441,000円

	補助額:補助対象経費× 1/3= 147,000円

4箇所	合計 147,000円 ...Ⓐ

+

既存住宅における省エネ改修促進事業(東京都)




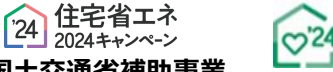




①助成対象経費	:960,000円(仮想定)	
②国の補助金	:147,000円	
③市の補助金	: 50,000円(要相談)※	...Ⓑ
I) ①×1/3(上限額)	=320,000円Ⓒ
II) ①×2/3-②	=492,000円	
III) ①-②-③	=763,000円	
I、II、IIIのうち小さい額		
かつ助成対象額1/3又は100万円以内		

※狛江市補助事業について
 令和6年度の市の補助金は受付終了。
 令和7年度の実施については予算が決定次第ホームページに掲載

補助額 合計517,000円(Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ) 25

5.2024年度(令和6年度) 補助事業の公募期間比較(スケジュール比較)

参考資料

	2023年		2024年												2025年				
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
 <p>住宅省エネ 2024キャンペーン 環境省補助事業 先進的窓リノベ2024事業</p>	<p>工事の実施期間：2023年11月2日～遅くとも2024年12月31日(予定)</p> <p>予約申請(任意)：2024年5月16日～遅くとも2024年11月30日(予定) ※1</p> <p>交付申請：2024年5月16日～遅くとも2024年12月31日(予定) ※2</p>																		<p>※1：予約申請提出後3ヵ月、一括申請については9ヵ月以内又は12月31日以内に交付申請が無かった場合は予約は取り消されます。</p> <p>※2：予算上限に達した場合は交付申請を終了する場合があります</p>
 <p>住宅省エネ 2024キャンペーン 国土交通省補助事業 子育てエコリフォーム支援事業</p>	<p>工事の実施期間：2023年11月2日～遅くとも2024年12月31日(予定)</p> <p>予約申請(任意)：2024年7月5日～遅くとも2024年11月30日(予定) ※1</p> <p>交付申請：2024年7月5日～遅くとも2024年12月31日(予定) ※2</p>																		
 <p>環境省補助事業 断熱リノベ【令和6年3月公募】</p>	<p>公募期間(交付申請)：2024年3月18日～2024年6月14日 ※3</p> <p>交付決定(審査期間)：1～2ヵ月程度を目途 ※4</p> <p>工事の実施期間：契約後～2024年11月30日(目安)</p> <p>完了実績報告：～12月27日までに必着</p>																		<p>※3：応募状況によっては不採択になる場合があります。公募期間中であっても申請金額の合計が予算額に達した時点で公募を終了します。</p> <p>※4：交付申請受け付け後、1～2ヵ月程度の審査期間を得て交付通知を発行し、交付決定後に契約・工事ができる。</p>
 <p>環境省補助事業 断熱リノベ【令和6年6月公募】</p>	<p>公募期間(交付申請)：2024年6月26日～2024年8月9日 ※3</p> <p>交付決定(審査期間)：1～2ヵ月程度を目途 ※4</p> <p>工事の実施期間：契約後～2025年1月14日(目安)</p> <p>完了実績報告：～2月14日までに必着</p>																		
 <p>環境省補助事業 断熱リノベ【令和6年9月公募】</p>	<p>公募期間(交付申請)：2024年9月上旬～2024年12月上旬 ※3</p> <p>交付決定(審査期間)：1～2ヵ月程度を目途 ※4</p> <p>工事の実施期間：契約後～2025年1月31日(目安)</p> <p>完了実績報告：～2月28日までに必着(予想)</p>																		
 <p>環境省補助事業 断熱リノベ【令和7年1月公募】</p>	<p>公募期間(交付申請)：2025年1月下旬～2025年3月上旬 ※3</p> <p>交付決定(審査期間)：1～2ヵ月程度を目途 ※4</p> <p>工事の実施期間：契約後～2025年9月30日(目安)</p>																		

完了実績報告：～2025年10月31日までに必着(予想)

6. 玄関ドアの補助事業について 参考資料

補助事業名	 <small>くらしの中のエコロがけ</small> 既存住宅における 断熱リフォーム支援事業 (略称:断熱リノベ)			
				
申請グレード (事業タイプ)	—	Bグレード	ZEHレベル	省エネ基準レベル
断熱性能 (熱貫流率)	H-1 Ud:4.7W/(㎡・K)以下	H-5 Ud:2.3W/(㎡・K)以下	H-5 Ud:2.3W/(㎡・K)以下	H-1 Ud:4.7W/(㎡・K)以下
戸当り上限額	5万円/戸 (窓と玄関ドア合せて改修する 場合は20万円/戸)	窓と合せて 200万円/戸	窓と合せて 20万円/戸	
補助単価	—	親子開きドア：70,000円/カ所 片開きドア：43,000円/カ所	親子開きドア：49,000円/カ所 片開きドア：43,000円/カ所	親子開きドア：37,000円/カ所 片開きドア：32,000円/カ所
補助率	見積りの金額と15万円のい ずれか低い額の1/3以内	1/2	—	
申請条件	窓改修と同時に導入する場合 のみ補助対象となります。 (玄関ドア単独申請は不可)	窓改修と同一契約の場合のみ 補助対象となります。 (玄関ドア単独申請は不可)	玄関ドア単独でも補助対象になります。 (玄関ドア単独申請は可)	
備考				

7.改修事例の紹介



管理組合コメント

サッシ改修工事は元々2029年に予定していたのですが、居住者からは繰り上げて実施してほしいとの要望もあり、管理組合としては何とかして希望を叶えたいと思い、環境省の補助事業に応募しました。結果無事に採択がされ、約10年早めてサッシの改修工事を行うことができました。改修後は気密性が向上し、外部からの音がほとんど聞こえなくなり、窓からの冷えもなくなりました。居住者からは感謝の言葉を多数頂き、この計画を進めて良かったと実感しています。



団地管理組合法人若葉台くめぎ
理事長 清水敏昭

管理組合コメント

サッシ改修工事は元々2029年を予定していたのですが、居住者からは繰り上げて実施して欲しいとの要望もあり、管理組合としては何とかして希望を叶えたいと思い、環境省の補助事業に応募しました。結果無事に採択がされ、約10年早めてサッシ工事ができました。改修後は気密性が向上し、外部からの音がほとんど聞こえなくなり、窓からの冷えもなくなりました。居住者からは感謝の言葉を多数頂き、この計画を進めて良かったと実感しています。

8.建築物省エネ法に基づく省エネ性能表示制度(国土交通省)

2024年4月から住宅・建築物を販売・賃貸する事業者に省エネ性能ラベルの表示が**努力義務**となりました

第1版(2023年9月)

建築物省エネ法に基づく
省エネ性能表示制度
事業者向け概要資料

1 **省エネ性能ラベル**
ポータルサイトやチラシ等の
広告に使用するラベル画像
※2023年9月時点

新築では、
①省エネ性能ラベル
②エネルギー消費性能
の評価書
2つが必要

2 **エネルギー消費性能
の評価書**
建築物の概要と省エネ性能評
価を記した保管用の証明書
※2023年9月時点

既存住宅では ⇒ 既存住宅の改修等部位の表示
2024年11月運用開始

既存住宅

再エネ設備あり

建築物省エネ法に基づく
省エネ部位ラベル

<input checked="" type="checkbox"/> 窓 リビング・ダイニング その他居室 アルミ樹脂製サッシ 二層複層ガラス (Low-E) (2024年3月)	<input checked="" type="checkbox"/> 給湯器 ハイブリッド給湯器 (2024年3月)		
<input checked="" type="checkbox"/> 外壁 (2004年3月)	<input checked="" type="checkbox"/> 玄関ドア (2024年3月)	<input checked="" type="checkbox"/> 節湯水栓 (2024年3月)	<input checked="" type="checkbox"/> 高断熱浴槽 (2024年3月)
<input checked="" type="checkbox"/> 空調設備 (2024年3月)	<input checked="" type="checkbox"/> 太陽光発電 (2024年3月)	<input checked="" type="checkbox"/> 太陽熱利用 (2024年3月)	

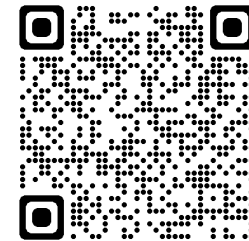
※各部位が省エネについて一定の要件を満たす場合に を表示
※各部位の設置・改修時期を () 内に表示 (把握している場合)

自己評価 ○○○○○マンション○○号室
評価日2024年6月1日
このラベルは○○○の講習を受けた者が現況確認を行って発行しています。

9.各法人他 ホームページのご紹介

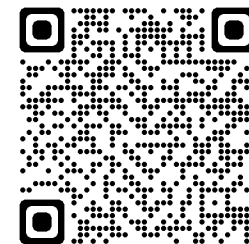
一般社団法人 日本建材・住宅設備産業協会
マンション省エネ改修推進部会

[建産協（一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会） - YouTube](#)



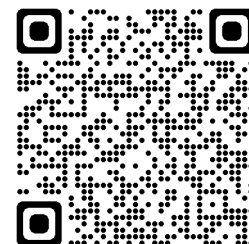
一般社団法人 建築開口部協会
マンション断熱改修部会

[一般社団法人 建築開口部協会 \(jboa.or.jp\)](http://jboa.or.jp)



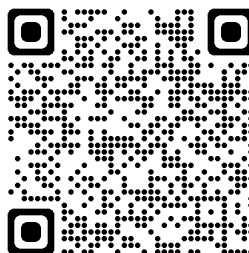
公益財団法人 マンション管理センター

[省エネパンフ 240805校了.indd \(mankan.or.jp\)](http://mankan.or.jp)



NHK クローズアップ現代 2024年9月2日 放送

[家が暑い!どうする?地球沸騰化時代の住まい“断熱”の効果は - クローズアップ現代 - NHK](#)



10.参考:内窓設置について

先進的窓リノベ事業 (戸建住宅・低層集合住宅(3階以下)、中高層集合住宅(4階以上)) (/箇所)

性能区分	熱貫流率 (W/(m ² ・K))	サイズ			
		大(L)	中(M)	小(S)	極小(X)
		1.4m ² 以上	0.8m ² 以上、1.4m ² 未満	0.1m ² 以上、0.8m ² 未満	0.1m ² 未満
P(SS)	1.1以下	112,000円	76,000円	48,000円	48,000円
S	1.1超過、1.5以下	68,000円	46,000円	29,000円	29,000円
A	1.5超過、1.9以下	52,000円	36,000円	23,000円	23,000円

子育てエコホーム支援事業 (/箇所)

分類	建て方	熱貫流率(6地域) (W/(m ² ・K))	サイズ		
			大	中	小
			2.8m ² 以上	1.6m ² 以上2.8m ² 未満	0.2m ² 以上1.6m ² 未満
省エネ基準レベル	戸建	4.7	25,000円	20,000円	17,000円
	共同	4.7	25,000円	20,000円	17,000円
ZEHLレベル	戸建	2.3	34,000円	27,000円	22,000円
	共同	2.9	34,000円	27,000円	22,000円

窓の断熱改修により、より良い居住空間が得られます。

省エネ効果によりコストの削減が出来ます。

改修することにより、資産価値が向上します。



補助事業を活用され、窓の改修をお勧め致します。